

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 高山 文秀
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	入浴者 55,347 人（市内 44,073 人、市外 3,553 人、マリン 420 人 他） 施設利用者 1,779 人（会議室 13 人、ピラト 392 人、和室 1,374 人） 総利用者数 57,126 人
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取り組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	38,891	千円
	市指定管理料	15,613	千円
	利用料金収入	22,287	千円
	その他の収入	991	千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	41,858	千円
	主な支出 人件費	10,924	千円
	光熱水費	14,954	千円
	保守料・修繕費等	4,762	千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。また自主事業（イベント）実施の際にもアンケート調査を行い、今後の事業展開の参考としている。
----------------	--

(2)指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた薬湯や毎月 26 日の風呂の日イベント、クリスマスイベント等を開催した。 ・施設の円滑な管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催した。加茂地域の関係者を運営委員に委嘱し、事業計画等について助言や提案を受けた。 ・当該施設の設置目的である健康増進や介護予防を目的として、保健師を講師に招き、高齢者の転倒予防を題材とした介護予防講座を開催し、参加者から好評を得た。 ・施設管理においては、利用者の安全確保を第一とし、水質検査（特にレジオネラ細菌等）を行うとともに、すべての配管清掃を
	<p>行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理初年度であるが、施設の老朽化により予想以上の修繕費等が高むとともに、光熱費の負担増により収支は赤字となった。 ・旧指定管理者が発行した回数券の使用期限に制限がないため、旧回数券の使用により、収入が伸び悩む一因となっている。 <p>これらのことから今年度は、概ね良好に業務を推進したものと評価するが、今後、施設設置の目的に沿って利用促進を積極的に図り、収支の改善に努めたい。</p>
(3) 市の評価	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取り組み状況については高く評価できる。また、老朽化に伴い修繕費等が高む中、コスト削減を図るなど経営努力には一定の評価ができる。</p>

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 高山 文秀
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 57,732 人 入浴者 55,536 人 (市内 49,068 人、市外 3,429 人、マリン 343 人 他) 施設利用者 2,196 人 (会議室 166 人、ビュート 396 人、和室 1,634 人)
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	42,892 千円
	指定管理料	15,613 千円
	利用料金収入	26,283 千円
	その他の収入	996 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	45,259 千円
	主な支出 人件費	9,502 千円
	需用費	19,420 千円
	役務費	547 千円
	委託料	821 千円
	使用料及び賃借料	6,515 千円
	原材料費	7,747 千円
負担金・公租公課	707 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。また自主事業(イベント)実施の際にもアンケート調査を行い、今後の事業展開の参考としている。
----------------	--

(2)指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた薬湯や毎月 26 日の風呂の日イベント、クリスマスイベント、ウィンターイルミネーション等を開催した。 ・施設の円滑な管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催した。加茂地域の関係者を運営委員に委嘱し、事業計画等について助言や提案を受けた。 ・当該施設の設置目的である高齢者等の健康増進や介護予防を目的として、作業療法士による膝・腰の痛みの予防講座や歯科衛生士による口腔ケアの講座を開催して、参加者から好評を得た。 ・地元住民の交流や施設の利用促進のため、手話サークルやピリヤード同好会に協力をを行い、施設を開放した。 ・施設管理においては、利用者の安全確保を第一とし、水質検査（特にレジオネラ細菌等）を行うとともに、すべての配管清掃を行った。 ・集客を図るため施設独自のスタンプカードや期間限定の阿波温泉共同スタンプカードを導入し、また、宴会プラン等による利用促進により収入増に努めたことから、昨年度より収支状況は改善されているが、光熱水費等の負担が依然として高い水準のため、赤字となっている。今後、施設設立の目的に沿って、利用促進を積極的に図り、収支の改善に努めたい。 <p>これらのことから、今年度はおおむね良好に業務を推進したものと評価する。</p>
(3) 市の評価	<p>地域の方々や利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組み状況については高く評価できる。また、収支の面では赤字が続いているが、今後のさらなる運営改善により黒字に転換できるよう期待する。</p>

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	高齢者総合福祉施設「めぐみ荘」
(2) 指定管理者	所在地 津山市山北 520 番地 名称 一般財団法人 津山市都市整備公社 代表者 理事長 政岡 大介
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 58,514 人 入浴者 55,981 人 (市内 49,649 人、市外 3,678 人、マツ 448 人 他) 施設利用者 2,533 人 (会議室 130 人、ビュート 342 人、和室 2,061 人)
(2) 事業の内容	高齢者総合福祉施設として、温泉を利用した地域住民の健康の増進、交流と地域活性化、憩いとやすらぎ及び介護予防の拠点となるための取組みを実施。

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	41,224 千円
	指定管理料	15,613 千円
	利用料金収入	24,679 千円
	その他の収入	932 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	42,641 千円
	主な支出 人件費	9,610 千円
	需用費	17,700 千円
	役務費	486 千円
	委託料	992 千円
	使用料及び賃借料	7,281 千円
	原材料費	5,841 千円
負担金・公租公課	731 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、アンケートを実施。また自主事業(イベント)実施の際にもアンケート調査を行い、今後の事業展開の参考としている。
----------------	--

(2)指定管理者の自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の総利用者数は、58,514 人で前年度と比べて入浴者及び施設利用者ともに増加した。 ・七夕、冬至や正月といった季節に合わせた各種イベントを開催し集客に努めた。また、継続的な催物として、毎月 26 日に風呂の日イベントを開催した。 ・施設の円滑な管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催した。加茂地域の関係者を運営委員に委嘱し、事業計画等について助言や提案を受けた。 ・昨年度に引き続き、健康増進や介護予防を目的として介護予防講座を開催した。今年度は、社会福祉士による認知症の予防講座や保健師、栄養士による骨粗しょう症予防講座を開催し、地域福祉の増進に努めた。 ・施設管理においては、利用者の安全確保を第一とし、水質検査（特にレジオネラ菌等）を行うとともに配管清掃を行った。また、加茂郷フルマラソン全国大会では、多数の出場者が入浴し、水道水が供給不足に陥ったため、給水車による臨時給水や整理券を配布し入浴制限をするなどの対応を行った。 ・収支については、光熱水費や下水道使用料等の支出負担割合が高いため、収支は赤字となっている。 これらのことから、今年度は、概ね良好に業務を推進したものと評価するが、次年度では、さらに利用促進を図り、施設の設置目的に沿いつつも収支の改善に努めたい。
(3) 市の評価	<p>利用者の意見を積極的に取り入れ、ニーズに対応したイベントの実施、さらに施設の設置目的である市民の健康の増進、交流及び介護予防の拠点施設としての役割を果たすための取組み状況については高く評価できる。さらに、地域の方々の意見等を反映する委員会を設置するなど、地域に根差した取組みについても評価できる。また、収支の面では赤字が続いているが、今後のさらなる運営改善により黒字に転換できるよう期待する。</p>